

# NYマーケットレポート (2020年12月16日)

## 2020年12月16日 (水)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	26,757.40	+69.56	13.11%	USD/JPY	103.47	103.92	103.26
ハンセン指数	26,460.29	+253.00	-6.14%	EUR/JPY	126.06	126.35	125.71
上海総合	3,366.98	-0.25	10.39%	GBP/JPY	139.69	140.06	139.16
韓国総合	2,771.79	+14.97	26.12%	AUD/JPY	78.35	78.43	78.13
豪ASX200	6,679.23	+47.88	-0.07%	EUR/USD	1.2184	1.2212	1.2125
シンガポールST	2,872.80	+16.08	-10.86%	BRL/JPY	20.256	20.269	20.045
インドSENSEX	46,666.46	+403.26	13.12%	RUB/JPY	1.404	1.410	1.397

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%
英FT100	6,570.91	+57.59	-12.88%
仏CAC40	5,547.68	+17.37	-7.20%
独DAX	13,565.98	+203.11	2.39%
スペインIBX35	8,139.50	-12.90	-14.76%
イタリアFTSE MIB	21,986.52	+51.90	-6.47%
トルコ・イスタンブール100	1,392.45	-2.95	21.69%
ロシアRTS	1,400.05	+9.59	-9.61%
南ア全株指数	休場		#VALUE!

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1859.10	+3.80	22.06%
NY 原油	47.82	+0.20	-21.68%
CBOTコーン	426.75	+2.00	10.06%
CRB指数	163.858	+0.838	-11.80%
ドル指数先物	90.239	-0.234	-6.38%
VIX指数	22.50	-0.39	63.28%

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	30,154.54	-44.77	5.66%
S&P500	3,701.17	+6.55	14.56%
NASDAQ	12,658.19	+63.13	41.08%
南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	17,567.42	+60.94	2.95%
メキシコ・ボルサ指数	43,790.42	+247.07	0.57%
ブラジル・ボベスパ指数	117,857.35	+1708.72	1.91%

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	21350	19475
Ripple(XRP)【BSTP】	0.526	0.475
Ethereum【BSTP】	630.73	588.84
Bitcoin Cash	304.43	290.79

オセアニア国債利回り	本日	前日
オーストラリア10年債	0.965%	0.966%
ニュージーランド10年債	0.930%	0.888%
日本国債利回り		
2年債	-0.121%	-0.124%
10年債	0.010%	0.005%
30年債	0.626%	0.624%

### 12/17 経済指標スケジュール

09:30 【オーストラリア】11月失業率  
 09:30 【オーストラリア】11月雇用者数  
 09:30 【オーストラリア】11月労働参加率  
 09:30 【シンガポール】11月電子機器輸出  
 09:30 【シンガポール】11月輸出[除石油]  
 13:00 【日本】11月首都圏新規マンション発売  
 16:00 【スイス】11月貿易収支  
 16:00 【欧州】11月新車登録台数[EU-27]  
 16:45 【フランス】12月企業景況感指数  
 16:45 【フランス】12月生産アウトロック指数  
 17:30 【香港】11月失業率  
 17:30 【スイス】政策金利発表  
 17:30 【スウェーデン】11月失業率  
 18:00 【ノルウェー】政策金利発表  
 19:00 【欧州】11月消費者物価指数  
 21:00 【英国】政策金利発表  
 21:00 【英国】12月英中銀議事録  
 22:30 【米国】新規失業保険申請件数  
 22:30 【米国】失業保険継続受給者数  
 22:30 【米国】12月フィラデルフィア連銀景況感指数  
 22:30 【米国】11月住宅着工件数  
 22:30 【米国】11月建設許可件数  
 22:30 【カナダ】11月住宅価格指数  
 00:30 【米国】EIA天然ガス貯蔵量  
 01:00 【米国】12月カンザスシティ連銀製造業活動指数  
 04:00 【メキシコ】政策金利発表

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	-0.567%	-0.611%
英国 10年債	0.272%	0.260%
フランス 10年債	-0.330%	-0.370%
イタリア 10年債	0.540%	0.520%
スペイン 10年債	0.020%	-0.020%
米国債利回り		
2年債	0.115%	0.113%
10年債	0.916%	0.908%
30年債	1.656%	1.650%

### 12/17 主要会議・講演・その他予定

・ EU財務相理事会

## NY 市場レポート（前日 22 時 00 分～午前 6 時 30 分まで）

### 主要な米経済指標の結果

11 月小売売上高（前月比） -1.1%（予想 -0.3%・前回 0.3%⇒-0.1%）

11 月小売売上高[除自動車]（前月比） -0.9%（予想 0.1%・前回 0.2%⇒-0.1%）

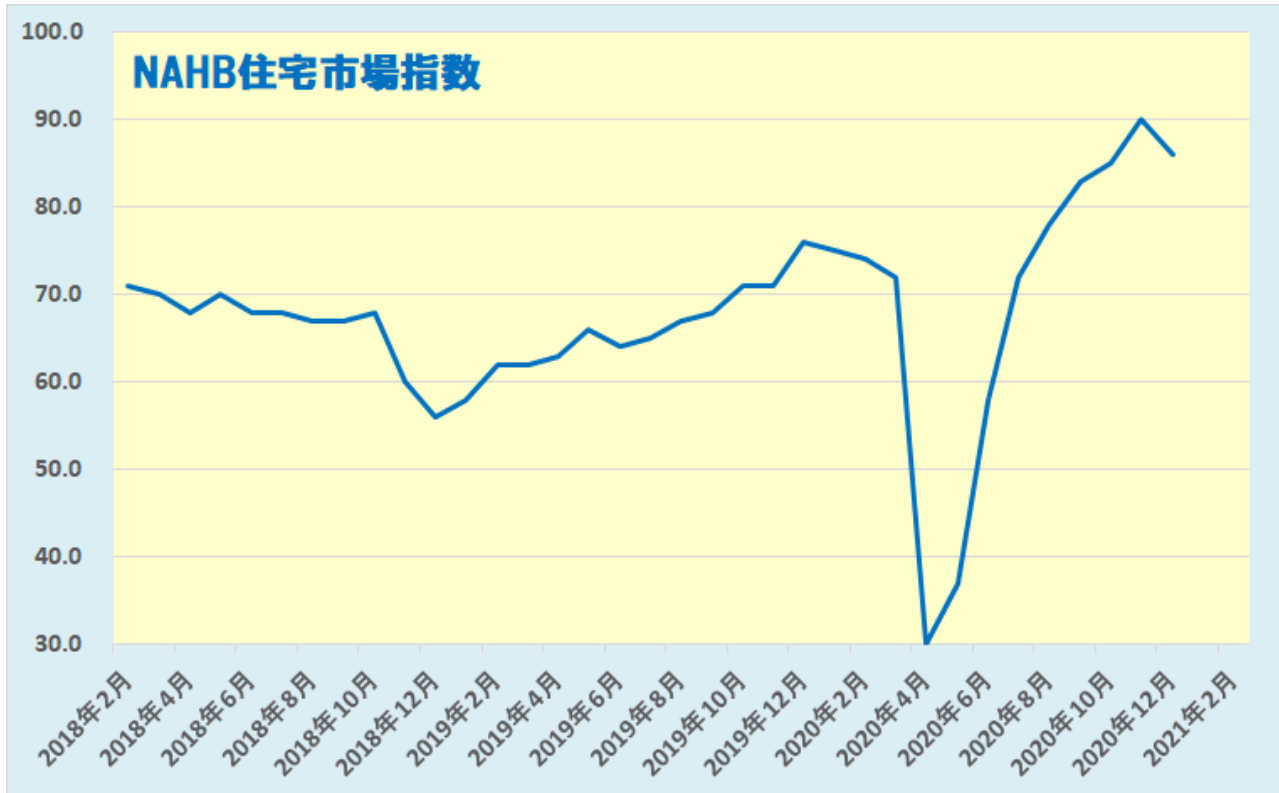
11 月の米小売売上高は、前月比-1.1%の 5465 億ドル（約 56.5 兆円）となり、新型コロナウイルス感染再拡大が影響し、2 カ月連続の減少となった。衣料品が-6.8%（前月-3.4%）、電気製品が-3.5%（1.1%）、ガソリンスタンドが-2.4%（-0.2%）、自動車・部品が-1.7%（0.0%）、家具が-1.1%（0.2%）と低下し、食品・飲料は 1.6%（-0.7%）と上昇した。また、百貨店が-7.7%（-4.9%）とマイナス幅が拡大したが、無店舗小売りは 0.2%（2.4%）とプラスを維持した。



データを基に SBILM が作成

12月 NAHB 住宅市場指数 86 (予想 88・前回 90)

12月のNAHB（全米ホームビルダー協会）住宅市場指数は、市場予想を下回る結果となったものの、前月の過去最高に次いで過去2番目の高水準となった。低水準の住宅ローン金利を背景に住宅市場の活況が続いていることが示された。一戸建て販売の現況指数、見通し指数、見込み客足指数いずれも低下した。



データを基に SBILM が作成

## FOMC の主な声明

- ・ FF 金利誘導目標を 0.00%~0.25%で維持
- ・ 資産購入の構成やペースに変更なし
- ・ 目標へ著しい進展あるまで債券購入を継続
  
- ・ 2020 年の成長率見通しは -2.5% ~ -2.2% (9 月時点 -4.0% ~ 3.0%)
- ・ 2021 年の成長率見通しは 3.7% ~ 5.0% (9 月時点 3.6% ~ 4.7%)

## パウエルFRB 議長の会見での主な発言

- ・ 「今後数カ月にわたって」の前回文言は一時的な表現
- ・ 債券購入の縮小は事前に余裕を持って警告する
- ・ かなりの期間、経済には支援が必要に
- ・ 来年下半年はワクチン効果で力強い経済に
- ・ インフレ押し上げは容易ではないだろう
- ・ 債券購入の拡大、残存期間のシフトは可能と再表明
- ・ FOMC は一度の物価上昇に反応することはしない
- ・ 米国債市場は FRB の恒久的プレゼンス必要とせず

## ダウ平均株価は反落、ナスダックは3営業日続伸

米株式市場では、序盤に発表された11月の米小売売上高が新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で予想以上に悪化したことが嫌気され、主要株価指数は序盤から軟調な動きとなった。ダウ平均株価は、一時前日比119ドル安まで下落したものの、FOMCで量的緩和政策の継続方針が示されたことを受けて36ドル高まで上昇するなど、主要株価指数は堅調な動きとなった。しかし、ダウ平均株価は終盤にかけて再び上値の重い動きとなり、44.77ドル安(-0.15%)で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックは、底固い動きが続き、63.13ポイント高(+0.50%)で終了、取引時間中と終値ベースの最高値を更新した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	資本財	-1.12%	1	ウォルグリーンBA	-2.15%
2	通信サービス	-1.06%	2	ハネウェルIN	-1.80%
3	石油・ガス	-0.08%	3	ボーイング	-1.58%
4	素材	-0.55%	4	コカ・コーラ	-1.45%
5	ヘルスケア	-0.50%	5	キャタピラー	-1.23%

データを基に SBILM が作成

## ドル/円は 103.90 台まで上昇したものの、その後は失速

NY 市場では、序盤に発表された米小売売上高が予想以上に悪化したことから、ドルは主要通貨に対して上値の重い動きとなった。ただ、米国債利回りが上昇したことから、対円では堅調な動きとなった。さらに、米主要株価指数が下落して始まり、ダウ平均株価が下げ幅を拡大したことから、クロス円は上値の重い動きとなった。一方、ドルは欧州通貨や資源国通貨に対して上昇したことから、対円でも堅調な動きとなった。その後、FOMC で経済成長見通しが上方修正されたことを好感して、ドルは主要通貨に対して上昇となり、対円では一時 103.92 まで上昇した。さらに、緩和策の継続、債券購入の延長が示唆されたものの、一部で緩和策の強化を予想する向きがあった反動から米国債が売られ（利回り上昇）たこともドルの押し上げ要因となった。その後は、主要株価指数が上昇したことから、ドルは主要通貨に対して下落となり、ドル/円も 103.40 まで下落した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。